



UM SaaS Cloud
(製造業向けクラウドERPシステム)

- 本社所在地：大阪市北区堂島2-2-2
近鉄堂島ビル20F
- 事業概要：製造業向けクラウドERP「UM SaaS Cloud」の提供
- 常時使用する従業員：209名
(2025年3月現在)
- 現在の売上高：21.9億円
(2024年3月期)
- 法人番号：1120001058058
- Web：https://www.synapse-i.jp/

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役社長
藤本繁夫

人と技術をつなぎ、日本のモノづくりを革新する

私たちは、「人と技術をつなぎ、日本のモノづくりを革新する」という強い想いを胸に、ここまで挑戦を積み重ねてきました。日本のモノづくりは、世界に誇る技術と品質で支えられてきた産業です。今、その現場は複雑化し、人手不足など多くの社会課題に直面しています。私たちは、その課題を解決するために技術を磨き、現場の声を聴き、AIとクラウドの力で現場を変える「次世代ERP」を開発・提供します。これまで中小企業を中心に展開してきた私たちは、今後は大企業への導入を加速させ、大企業と中小企業の壁を越えたサプライチェーン全体にデータがつながる世界を実現します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

製造業向けクラウドERP「UM SaaS Cloud」を進化させ、中小企業を主とした販売構造から大企業へも販売を拡大します。国内大企業製造業へアプローチし、2030年3月期に売上高100億円を達成するとともに、製造業の人材不足という社会課題を解決し、ものづくりにおける未来を切り拓いていきます。

課題

大企業製造業特有の複雑な工程や大容量データ処理など高度なニーズに応えるための技術的課題、売上100億円を達成するための販売網といった販促的課題が挙げられます。これらの課題に対して、AWSを活用した大容量処理を可能とする技術基盤の構築やパートナー連携の強化を実施することで目標達成へと繋がります。

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

売上高100億円達成に向け、Salesforce+AWS基盤の構築、AI機能（需要予測・工程自動生成・お客様/社内自動応答）の開発、UI改善を実装し、次世代UM SaaS Cloudを正式リリースします。初年度は自動車や半導体業界における大手製造業15社の先行導入と代理店連携強化を進め、以降はさらなる代理店開拓や展示会出展といったマーケティング施策を実行し拡販します。3年目以降は海外展開や大型案件導入を推進し、売上100億円を確実に実現します。

実施体制

開発・営業・カスタマーサクセス・財務管理など社内の部門が一丸となり、全体統括から商品企画、営業推進、補助金申請・報告までを一貫して進める体制を整えています。さらに、強力なパートナーとの連携により、顧客開拓を加速させ、AI活用や大容量処理機能の実装を推進するなど、確実に実現可能な実施体制を構築しています。社内外の連携を強め、開発・営業・導入支援のすべての面でプロジェクトを着実に推進できるよう、万全の体制を整えています。

※本宣言は企業自身はその責任において売上高100億円を目指して、自社の取組を進める旨を宣言するものです

売上高100億円実現の目標と課題

売上高100億円の達成に向け、SalesforceとAWS基盤を軸にAI機能（工程自動生成・お客様/社内自動応答）やUI改善を実装し、次世代UM SaaS Cloudを正式リリースします。初年度は自動車・半導体業界の大手製造業15社を先行導入し、代理店連携も強化。以降、展示会出展や海外展開を推進し、確実に売上100億円を達成します。開発・営業・カスタマーサクセス・財務管理など社内の専門部門が一丸となり、全体統括から営業推進、補助金申請・報告までを一気通貫で取り組む体制を整えています。さらに、強力な販売・導入パートナーと連携し、顧客開拓を加速させるとともに、AI活用や大容量処理機能の実装を進めるなど、確実に実現可能な実施体制を構築し、事業目標の達成を確実に実現します。

